

道府県名	課程番号	不安定雇用求人について
北海道	④	*期間終了後正社員への登用有。*本校の生徒は継続雇用につながる企業への受験をしているので、特に問題はない。
	①	派遣会社の求人はあるが、生徒には止めるように話している。
	①	契約が1年・6ヶ月など期限付きのものが「仮採用とし、その後検討」とあり、生徒はそこに望みをかけて応募している。
	①	製造・販売にあり。業種が限られてくる。
	⑤	本校の就職はほとんどがパート採用。雇用契約については、障害者の雇用援護制度の利用など、詳細についてハローワークや企業と打ち合わせしている。
	⑤	応募の際、将来的に正社員として採用していただけるよう、強くお願いしている。
青森	①	冬閑期にレイオフとなる季節雇用。
	④	継続雇用の確約がないため、身分的に不安がある。
	②	保護者・本人が了解すれば応募する。
	②	販売、サービス系は原則として応募させないようにしている。ただし、情報技術系は各企業への派遣や請負の業務形態が大半なので、やむを得ない。
	⑤	当然ながら職場定着や安定までの支援体制が必要となるが、その間は試行期間という対応にしているケースが多く、高い評価を得られない場合には、解雇につながってしまうことが考えられる。
秋田	①	安定性がないので応募させにくい。生徒からの希望がない限り応募させたくない。
	①	本校では、あまり不安定雇用の応募しようとする(せざるを得ない)生徒はいないので助かっている。
	①	製造関係が多い。
福島	②	本校は他校との比較では恵まれているため、現時点では不安定雇用求人に応募しないで済んでいる。
	②	不安定雇用は受け付けない方針
	①	介護職での不安定雇用が気になる。きびしい職場の中で使い捨てにされるのではないだろうか。
	①②	学校紹介でなく、生徒本人・親からの申し出で受験を問い合わせ内定した。
茨城	①	就職希望者数が少ないためか、求人数が減少した。
	①	派遣等での仕事は雇用が不安定で不景気の状態になればリストラされてしまうし、同一事業所に長年勤務することもできないので、継続的に仕事をしつづけて仕事の専門的スキルを身につけることもできない。
	①	応募については請負業なども含めると様々であり、回答できませんでした。
	①②	安定したところ以外は生徒に紹介しなかった。
	④	アパレルや化粧品等の販売は不安定雇用求人である場合が殆どあるが、同職種に固執する生徒(特に女子)にとって、やむを得ない選択肢になっている。
	③	製造業の派遣、請負が増えている。本校ではすすめていないし、生徒も希望しない。
	⑤	障害のある生徒については、パート採用の方が適している場合もあるため応募している。
群馬	②	工業高校卒業時点で派遣等の仕事は紹介しないようにしている。
埼玉	③	労働時間が不規則
	②	不安定雇用の求人は学校としては受付対象にしていない。
	①	生徒が短期雇用を前提に就職を希望している場合、契約社員待遇でも躊躇なく応募している。
	③	福利厚生面が良くない。雇用期間に限りがある。労働する時間帯が一定せず、深夜もある。賃金もあまり良くない。
	①	有期・契約社員
神奈川	③	600件を超えている。事務系は少なく製造が多い。推薦はしないようにしている。
	②	不安定雇用2名の内1名はマクドナルドのアルバイト。本人の希望でマクドナルド正社員への道として現在やっているアルバイトを続けるという。担任としては不安である。
	①	しつこく求人依頼に来る。
山梨	④	*大手人材派遣会社直営の工場などからの求人が来ている。こうした派遣会社などがハローワーク主催の企業・就職ガイダンスや合同面接会参加企業として同列に扱われているのは問題である。*県外の請負業務中心の企業に「自社生産している本社工場の求人なら対応できる」と本社の求人票のみを求めたがなしのつづて。

道府県名	課程番号	不安定雇用求人について
新潟	①	福祉(介護)・調理等は、働きながら資格を取り正規採用へと結び付けられる可能性があるようだ。観光関係の季節雇用は解消が難しい。
	①②	契約社員やメイト社員など問題点などが報道され応募する生徒がいないのが現状である。
	②	生徒が希望する会社で、不安定雇用求人はない。
	③	パート・アルバイトから正規社員になれる制度が保障されていない。
	①②	契約社員で「入社後、様子を見て」というところがある。解雇を容易にするために利用されまいか心配である。
富山		派遣の求人が派遣ではないかのように受け取られやすい。生徒はよく理解していない部分が多いので、就職担当者は生徒にきちんと説明できるようにしなければならない。
長野	①②	県外企業からの求人がほとんど。勤務地が県内であっても遠隔地であることが多く、希望者はほとんど出ない。
	③	進路では、ハローワークの求人一覧によって就職の指導を行なっている。
	②③	不安定雇用求人は学校として斡旋しない。
	①	実態がよくわからない。
	①	県外からの派遣会社求人が昨年よりは減少している。
	①	学校としては基本的に斡旋していない。
	③	心身とも正社員になる自信のない学生が多数で、パート・アルバイトの不安定性を考えず志望していく。
	①	*身分・健康・期間などの保障が無い、または不安があるため、将来のことを考えると安心して生徒には薦められない。*今年は2人。1人は足に軽い障害があるため試行期間として契約社員の形をとり、身体的に大丈夫なら正規の方向で。もう1人は縁故で見習い期間をアルバイトの形をとった。
岐阜	①②④	*就業場所の不特定と各種保険加入が不明確。*入社試験直前に応募停止の派遣企業があった。
	⑤	不安定だが、公務員及びそれに準じる職種の求人がある。
	②	本校では就職希望者は全員正社員採用をめざしている。
	③	今まで接点もなかった、東京や大阪など大都市からの派遣会社からの求人票が送られてきた。
	②	派遣社員・請負の求人が多い。大企業が就業場所となっており、求人票で見ると労働条件も悪くないが、将来的な保障については疑問が残る。派遣先の会社からも求人があるので、派遣社員を希望する生徒は、今のところいない。
静岡	①	派遣・請負の求人票が年々増えてきているが、一見しただけでは見分けられない求人票がある。求人票を持ってくるときの説明で「派遣・請負会社の正社員だから問題ありません」といった説明をすることがある。
	④	研修期間が長く、その後正社員となるケースがある。
愛知	②	*求人について、昨年度は一昨年度に比べ、約3割減少。本年度は昨年度並み。*生徒・保護者とも不安定雇用を望んでいない。学校としても勧めていないため、応募者はいない。
滋賀	①	派遣業が若干増えた。
	①	派遣などについては、本人と保護者の強い要望がなければ原則として応募しないようにしている。現在のところそういう方面への応募はない。また、いわゆるフリーター希望が出ないように、担任・保護者と連絡を取り合いながら指導をすすめている。
	④	応募しないように指導している。
京都	①	1名。「当初2年は派遣社員」と例年通りの条件、企業の説明を受けて実質的な問題はないと認識している。
	①	特にないが、現在の景気低迷を受けて派遣の求人数が減るかもしれない。
	①	1社の求人が多くの会社の派遣企業を持つ傾向がある。
	②③	求人そのものを受け付けていない。
	③	従来の派遣求人は減少したが、紹介予定派遣など新たな派遣の求人が見られる。
	②③	ほとんどが郵送によるもので訪問は少なく、単なる求人票のばら撒きと思われる。勤務先が明確でないものは受理していない。
大阪	②	派遣会社と思われる企業へは斡旋しないようにしていたが、教員が認識しているかどうかの定義でしかなく難しい。

道府県名	課程番号	不安定雇用求人について
大阪	②	事例として内定取消があった(派遣予定企業の契約解除)。
	②	*昨年に比べて、派遣・請負が増加。*期限付き雇用の求人もあった。
	②	将来が見えないので応募できない。
兵庫	③	学校からの紹介としては扱わない。ただし、契約⇒正社員というルートしかない企業は別。
	①	大手派遣会社の廃業にともない減少した。
	①	求人票で派遣業と思い問い合わせたが、会社は社員であると言い、それ以上確認が取れなかったことがある。
	①	「派遣業の企業の正社員」という待遇が明確でない求人がある。
	①	指定校推薦の一覧に入れられないようにしている。
	①	本校生徒が応募した企業のケースに1年契約のものがあり、応募前に企業担当者に、正社員として採用してもらえる方法・条件等を確認した。本人・保護者とも承知の上で受験を希望したので、現段階では問題は無いが、できれば、最初から正社員で採用してもらいたい。
	②④	大半の求人は郵送されてくるだけなので、学校判断で選別している。
和歌山	⑤	特別支援学校の場合は、生徒が職場に適應できるかどうか見極めるため、雇用当初は不安定雇用の形態をとることが多い。
	③	派遣・請負企業社員の求人が大手製造業を中心に多くなっている。高校生には薦められない求人内容である。
島根	①	世相を反映してか派遣等の不安定雇用求人が少し後退したように感じる。
	①	派遣会社からの求人が少し増えた。
岡山	①②	正社員への移行の見通しが曖昧な為、できる限り正社員の応募を薦めている。
	②	派遣型求人が若干ある。特に希望者が出ないので、現状では問題ない。
	②	とりまとめて送付してくるケースの場合、不安定雇用求人が多い。
	①②	職種が現場管理ということで就職したが、入社してみると派遣社員と同じだったという派遣業者があった。
	①	県内求人はほとんどないが、県外求人には多いように思う。
	③	先輩や郊外の知人のついで、派遣的な仕事・請負業などに就くので、学校として指導が行き届かない面がある。(中には辞めたくてもなかなか辞め難くなっているものもあつたりするようである)
	①	契約延長があるかどうかははっきりしない。
広島	②④	1年経過後に更新「正社員登用の道あり」と書かれてはいる。
	⑤	正社員での雇用は難しいと話される場合が多い。「パートであれば雇用を考える」という場合が多い。
	①	政府方針に基づいて大幅に減少するかと思っただが、それほどでもなく、夏以降の景気後退の影響の方が深刻さを増している。
	山口	①②
山口	①②	マスコミの影響か、減少を感じる。よりいつその解消を望む。
	②	期間社員や派遣社員の求人が増えてくると、これがあたり前のようになる恐れがある。
愛媛	②	派遣や請負という職種でも企業側の説明では正社員という話でわかりにくい部分がある。
高知	①②	派遣や請負という職種でも企業側の説明では正社員という話でわかりにくい部分がある。
福岡	②④	いつ退職に追い込まれるかわからないし、勤務地がどこになるかも不安。そういう所に生徒を就職させたくないし、保護者も不安に思う。
	②③	派遣業は正社員になれるかどうか不透明な点がある。
佐賀	②	まったく把握していない。
	②	正社員雇用のための仮採用を行なっている。
	②	IC関連の請負企業からの求人が減少
	②	IC関連の請負企業からの求人が減少
長崎	①	いつ雇用を打ち切られるかわからない。就業場所が安定していない。